



薬の豆知識



◎薬の保管法

薬には錠剤・カプセル・粉薬・水剤・点眼・座薬など、症状や効き目の違いにより様々な種類があります。多くの種類がある薬ですが、どの薬でも保管する際に注意しなければならないことがあります。

“直射日光が当たる場所”・“温度が上がりやすい場所”・“湿度が高い場所”

このような場所に置いていると、薬が変質・変形しやすくなり、薬自体の効果が弱まる場合もあります。薬を保管する際は、直射日光の当たらない、風通しの良い場所が適しています。台所や洗面所などの湿度が高くなりやすい水周りや、テレビの上や暖房器具の周りなどの高温になりやすい場所は避けましょう。お菓子などの空きカンに薬を入れている方も多いと思いますが、その場合は乾燥剤も一緒に入れると良いです。

「冷蔵庫に入れておけば大丈夫でしょ？」という方もいらっしゃいますが、特別な指示がある薬（冷所保存）以外の薬は常温で保管してください。冷蔵庫に入れていると、逆に結露が出たり凍結して変質することがあります。



◎薬の使用期限

市販薬には使用期限が記載されていますが、ほとんどの処方薬は使用期限が記載されていません。基本的に錠剤などは1年ほど使用できますが、先に記したように自宅で保管する場合、環境によって変質や効果が悪くなったりすることがあります。特に点眼薬などの液剤は菌が繁殖しやすいので、開封後は1カ月以内に使い切るようにしてください。

処方された薬は『医師の指示した日数が使用期限』とっていただいたら間違いありません。

※薬の飲み残しがある場合は、使用するかしないかを自己判断せず、薬剤師または医師にご相談ください。

◎薬の分包

薬の飲み忘れや飲み間違い、薬が取り出しにくいなど、困っていることはありませんか？

処方される薬の種類が多いほど、間違いなく飲みきることが難しくなりますが、その様なときはお気軽にご相談ください。朝・昼・夕など、薬を飲み方1回分ずつ1袋にまとめてお渡しすることができます。

お名前の印字、服用日の印字や、お薬カレンダー（1枚100円）の利用で飲み忘れや飲み間違いの防止にもなります。ご家族の方からの相談も受け付けておりますので、お気軽にスタッフまでどうぞ。

※薬の種類によっては分包できないものもありますので、まずはお尋ねください。



〇〇 〇〇 様 平成 29年 10月 朝食後 	〇〇 〇〇 様 平成 29年 10月 昼食後 	〇〇 〇〇 様 平成 29年 10月 夕食後
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

☆お薬手帳のおはなし☆

東日本大震災でカルテや薬歴などの記録が流されてしまった状況の中、お薬手帳の情報が貴重な情報源になりました。お薬手帳の情報が治療のスピードを左右した事例が沢山報告されています。

単なる記録ではなく、医療関係者等の重要な情報共有ツールとなっていますので、毎回持参するようお願いいたします。（内容が同じでも服用の期間や間隔等の情報源となりますので、毎回記載いたします。）

また、手帳の持参が難しい方であれば、スマートフォンで記録する電子お薬手帳もあります。無料アプリですので、興味のあるかたはスタッフまでお声がけください。簡単な設定等のご説明いたします。

